

2019 年度豊岡市障害者自立支援協議会相談支援グループ

上半期活動報告書

◆居住支援について

【住まいの確保に係る支援者研修会】への参加
(住居について考えるプロジェクトチームとの合同勉強会)

入居前の手続き、入居後の支援体制、不動産業者との協力関係づくり等について、事例検討を通して学び、気づきを得る機会を持った。

居住支援に関わってきた相談支援専門員は多くなかったが、社会資源として他職種との繋がりを作るだけでなく、入居前後の当事者へのサポート、関係機関との連絡調整が大切であり、各々の安心に繋がっていくことに気づいた。

今後、経験を積み重ねながら居住支援について学びを深めていく上で、支援の流れやポイントが分かると当事者も相談支援専門員も安心である。

◆支援者のスキルアップについて

事業所（就労継続支援A型、就労継続支援B型等）とグループホーム（共同生活援助）について、現状と課題を話し合った。

ステップアップ可能な当事者がいるものの、「今が安心」という思いや、不安や失敗を恐れる声が、当事者や家族、周囲から聞かれている。

しかしながら、当事者の意向を汲み取りつつも、可能性の選択肢を提案していくことは必要であり、生活全般を見つめ直す機会にもなると考える。

支援者のスキル向上だけでなく、当事者なりの自立に向けステップアップを目指す魅力を伝えるとともに、家族にも安心感を与えるような仕掛けづくりが必要ではないか。

今後、サービスだけでなく、生活の豊かさを追求していく視点も持ちながら、相談支援専門員のスキルアップを目的とした事例検討を行い地域課題の抽出を行っていく。